

広島大学大学院
放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム

平成 26 年度第 1 回放射線災害医療コースセミナーを開催しました

広島大学大学院放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラムでは、平成 26 年 12 月 12 日(金)に(独)放射線医学総合研究所放射線緊急時支援チーム(Radiation Emergency Medicine Assistant Team: REMAT) 医療室医長の富永 隆子先生を講師として「放射線医学総合研究所 REMAT の活動と急性放射線症候群 (ARS) の理解」をテーマとした放射線災害医療コースセミナーを開催しました。

セミナーでは、放射線の基礎や、生物に与える影響の基礎について、そして急性期から長期的な放射線障害の講義があった後に、急性放射線障害 (Acute Radiation Syndrome: ARS) の症例を、これまでに国外で生じた被ばく事故の症例とともに、日本国内で生じた放射線被ばく事故である JCO の経験を含めた非常に具体的な講演が行われました。

また、ARS に関する講演が行われた後には REMAT についての紹介があり、REMAT の成り立ちや、三次被ばく医療機関としての活動、また、東日本大震災に起因する東京電力福島第一原子力発電所事故発生直後の対応やその後の被ばく患者のケアを行っていることなどが紹介されました。

講演後には、学生はもとより本学教員も含めてのディスカッションが行われ、非常に活気にあふれたセミナーとなりました。



講演の様子